

温度計各ボタンの解説



温度計のボタンについて説明します。
通常の麴守りの使い方では、電源をONにするだけです。



【電源ON・OFFボタン】

1回押すとON、2回押すとディスプレイにバックライトがつきます。
電源を切りたいときは、3秒間長押しするとOFFになります。

【T1-T2ボタン】

T1端子の温度からT2端子の温度を引いた値を表示します。もう一度押すと、元の表示に戻ります。

【HOLDボタン】

データの表示をロックします。
また、HOLDボタンを押しながら電源を入れると、ピピッと2回なり、時間がたっても自動で電源が切れなくなります。
通常は30分でオートパワーオフにより電源が切れます。
麴守りでLANコンバーターにデータを送っている間は電源は切れません。

【MAX・MINボタン】

1度押すと最高温度、最低温度記録モードに入ります。MAX表示とともに最高温度が表示されます。
もう1度押すとMIN表示とともに最低温度が表示されます。
もう1度押すとMAXとMIN表示が点滅し、メモリが更新されます。
2秒間長押しすると通常モードに戻ります。
麴守りでは最高最低温度はパソコンのソフト上に表示されていますので、このボタンの操作は必要ありません。

【C・Fボタン】

摂氏と華氏の表示を切り替えます。

【RECボタン】(309対応)

記録ボタン。温度を記録します。
点滅している場合は、メモリーが一杯です。
RECボタンと電源ボタンを同時に押せばメモリーをクリアできます。